

様式 1

授業科目 社会学Ⅱ

科目コード番号

【担当教員名】 山手 茂	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

ソーシャルワーカーおよびヘルスワーカーのための社会学を、福祉社会学として概説する。福祉社会学は、社会福祉学の中核的基礎科学である。

<学習目標>

1. 前期「社会学」履修を前提として、現代社会の諸問題について理解する。
2. 21世紀の福祉・保健の課題を理解する。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	前近代社会と近代社会	産業革命、市民革命を契機とする近代化・市民社会形成	講義受講 読書等 自主学习
2	近代社会と現代社会	近代社会の諸問題と社会変動の諸側面	
3	民主化の進展	間接民主主義から直接民主主義へ、基本的人権の認識の拡充へ	
4	脱工業化の進展	サービス経済化、情報化、産業構造の変化	
5	高学歴化の進展	科学・技術の発展、産業・経済のリストラクチャリング	
6	国際化の進展	グローバリズムと「内なる国際化」	
7	生活の不安定化	産業・経済構造の変化と生活構造の変化	
8	新しい社会問題	ホームレス増加、老後不安、孤立化等	
9	社会参加活動	ボランティア活動、ネットワーキング活動等	
10	社会学と社会福祉	福祉社会学の構造と課題	
11	福祉政策	社会政策と福祉政策	
12	保健福祉計画	社会計画と保健福祉計画	
13	福祉社会	福祉国家と福祉社会・福祉コミュニティ・福祉NPO	
14	まとめ		
15	まとめ		

【評価方法】

- ①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する

【履修上の留意点】

前期「社会学」の履修を前提にして、変動しつつある現代社会への理解を深め、「よりよい社会」の形成について主体的に考えること。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	社会学	社会福祉士養成講座 編集委員会	中央法規	2001年 ¥2,500
参考書	随時紹介する			
その他 (プリント等)	毎時間印刷教材を配布する			